

日本のNIWAをつなぐ、 未来へ世界へ

～次代に繋ぐ日本庭園の思想と技術～

日時 **令和 8 (2026)年 6月 20日 (土)**
午後 1 時 30 分 ～ 午後 4 時 30 分
会場 **京都府立大学 稲盛記念館104講義室**
京都市左京区半木町1-5
参加費 **無料** (要事前申込/定員120名)

内容 (シンポジウム司会進行: 山田豊久)

13:40～14:25 基調講演 **栗野 隆 氏** (東京農業大学教授)

『日本庭園の未来をどのように創造してゆくか?』

14:30～15:00 庭園スピーチ **中根行宏 氏** (中根庭園研究所)

『継承と革新の庭学—NIWAの創造』

15:05～15:35 庭園スピーチ **山田拓広 氏** (日本造園建設業協会 国際委員会委員長)

『世界の中の日本庭園』

15:45～16:30 パネルディスカッション

『日本庭園の魅力を知ろう語ろう』

パネリスト **栗野 隆 氏** (東京農業大学教授)

中根行宏 氏 (中根庭園研究所)

山田拓広 氏 (日本造園建設業協会 国際委員会委員長)

コーディネーター **片山博昭** (日本造園修景協会 京都府支部長)

講師プロフィール



栗野 隆氏

兵庫県生まれ。東京農業大学大学院農学研究科博士後期課程修了。博士（造園学）。奈良文化財研究所を経て、東京農業大学教授。現在に至る。国立台湾師範大学訪問学者。学生時は武田氏館跡や旧岩崎邸庭園の保存整備に取り組む。奈文研時は平城宮跡・京域興福寺等の古代寺院、大乗院庭園の発掘調査、平城宮跡第一次大極楽院の整備と活用に従事。現在は日本近代を中心とした庭園史研究、文化財庭園の保存・修復研究を推進。日本造園学会賞（研究論文部門）、日本イコモス奨励賞受賞。専門は日本・東アジア庭園史、庭園考古学、文化財庭園保存修復。



中根 行宏氏

京都府生まれ。東京農業大学地環境科学部造園科学科卒、米国立オレゴン大学大学院ランドスケープアーキテクチャ専攻修士課程修了。現在、中根庭園研究所取締役副所長。京都市立芸術大学、武庫川女子大学非常勤講師。幼少時より文化財庭園や建築などの修理や大規模庭園の作庭に触れる機会に恵まれ、造園学を学ぶ。「文化財庭園の保護、研究を通じた正しい文化と技術の継承、その伝統的技術を応用して独自の現代造園を構築し、次の古典となすことを目指す」を目標に文化財庭園の修理や研究、国内外の伝統的・現代庭園、公共造園、景観づくりの調査・計画・設計・施工監理等に従事。



山田 拓広氏

京都府生まれ。京都造形芸術大学大学院芸術学研究科博士過程単位取得退学。現在、花豊造園株式会社代表取締役。幼少時より家業の造園業に触れるとともに、学生時には海外で日本庭園の実状を見てまわる。造園団体の海外事業にも多数関わった経験から、生活文化としての日本庭園をいかに伝えるかが課題と感じている。（一社）日本造園建設業協会理事国際委員長、京都府造園協同組合理事、（一社）日本庭園協会理事、文化財庭園保存技術者協議会事務局長、兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科非常勤講師、国際園芸家協会（AIPH）理事博覧会委員長。

コーディネータープロフィール



片山博昭

1960年佐賀県伊万里市生まれ。1982年3月 東京農業大学造園学科卒。1982年4月 京都市役所採用（造園技術職）2020年3月 第31代京都市動物園長（局長級）を最後に京都市役所定年退職。2021年6月 公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 専務理事（現職）。技術士【都市及び地方計画】

【主催】（一財）日本造園修景協会京都府支部
TEL : 075-256-1956
メール : kyoto@jalco.or.jp

【共催】（公財）国際花と緑の博覧会記念協会

【後援】（一財）日本造園修景協会
（一社）京都造園建設業協会
（公財）日本造園学会関西支部

【申込方法】下記事項をご記入の上、
QRコードもしくは
kyoto@jalco.or.jpへお申込みください。

①お名前②ふりがな③ご所属④メール⑤造園CPD番号
⑥会場参加希望/WEB参加希望のいずれか
※本シンポジウムは造園CPDプログラム申請中です

【申込〆切】 令和8年6月15日（月）

